

Com2 File  
ユーザガイド

ユニテック・ジャパン株式会社

原典： 01-31-06

## 目 次

概要 .....	3
開始: .....	3
プログラミング:.....	6
ポーリング:.....	6
アルゴリズム:.....	6
COM ポートからデータを取得:.....	7

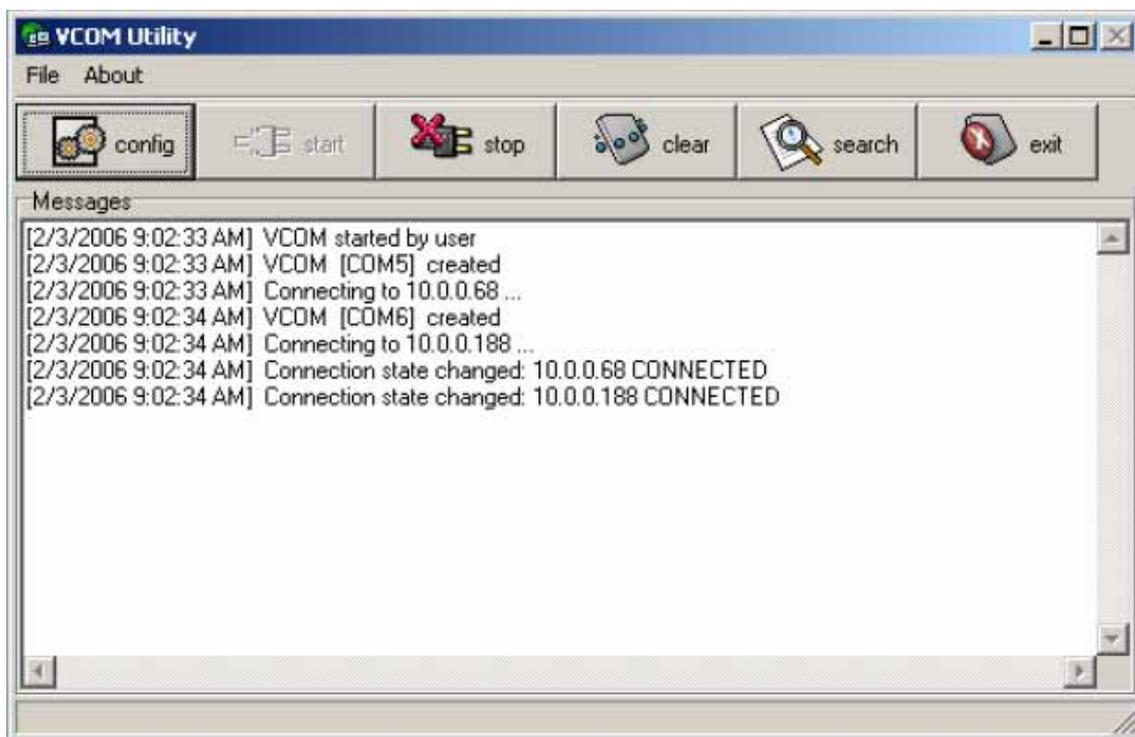
## 概要

Com2 File は複数の COM ポートからデータを収集し、一つの出力ファイルにマージするユーティリティプログラムです。これは簡単なツールですが、MS860WiFi と VCOM ユーティリティに関連するソースコードの例を示す目的としても提供されます。本ガイドは COM2FILE ユーティリティの使い方と構成しているアルゴリズムについて示しています。

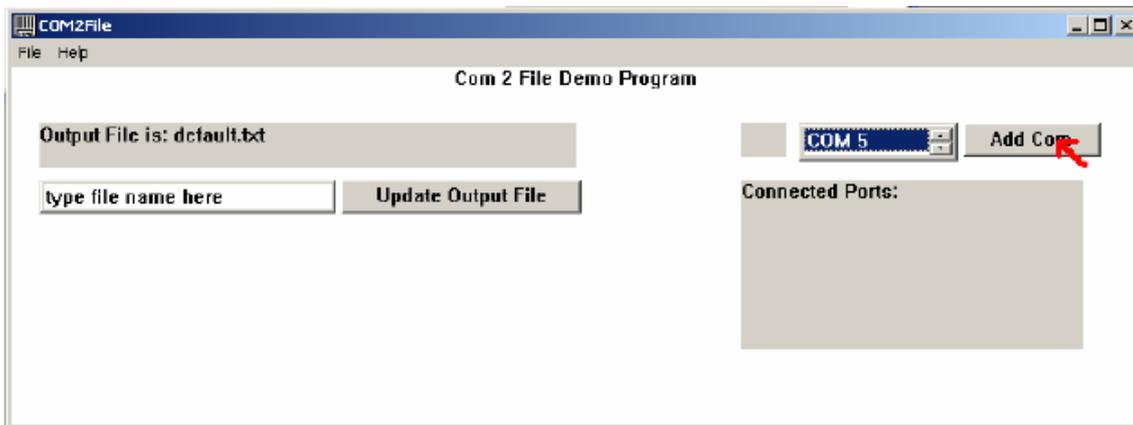
## 開始:

Com2File を実行する前に、MS860 スキャナと VCOM ユーティリティのセットアップを行わなければなりません。詳細については MS860 の取扱説明書をご覧ください。

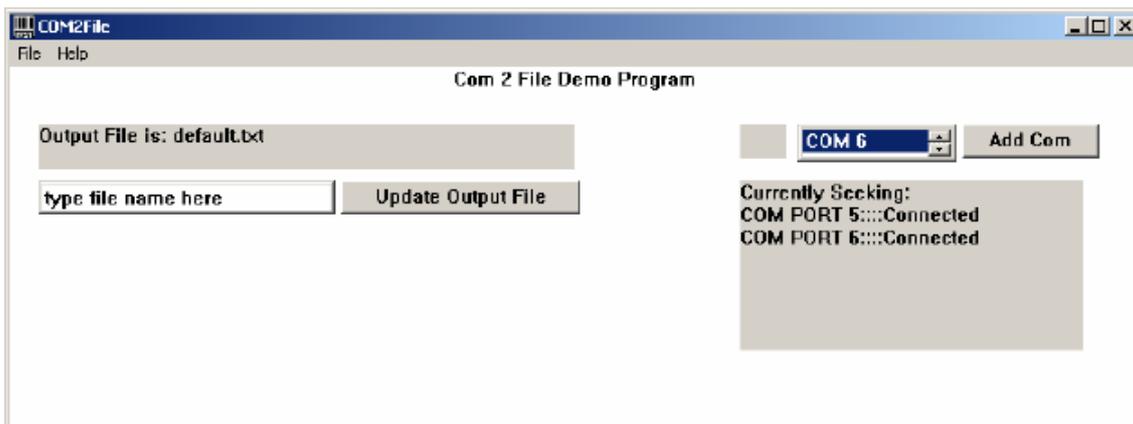
MS860 について COM ポートが得られたら、Com2File ユーティリティはその COM ポートに接続してデータを収集することができます。VCOM は以下の図のような接続されたことを示すメッセージを表示します。



Com2File を実行し、COM リストのポート番号を指定して接続し、“Add Com” をクリックします。

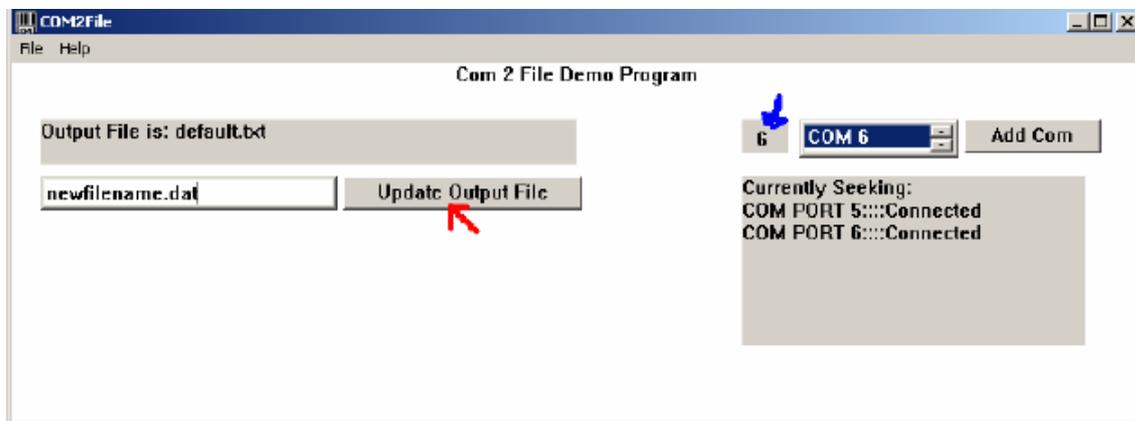


接続しているすべての COM ポートについて繰り返します。正しく接続ができたポートが下のボックスに示されます。



これですべての COM ポートに接続されているスキャナの準備ができました。標準では、スキャンは Com2File を実行するファイルがある同じディレクトリに“default.txt” の名前で保存されます。これを変更するには、ボックスに新しいファイル名を入力して、“Update Output File”をクリックします。

メモ：プログラムの実行時に、下の青でマークしたボックス (COM ポートリストの左) に現在データを受信しているポートの番号が表示されます。



スキャンした内容を見たい場合は、右上角の“x”をクリックして Com2File を閉じます。そしてメモ帳などのエディタで出力ファイルを開きます。Com2File が正しく終了されなかった場合、出力ファイルは完全に書き込まれないかもしれません。

## プログラミング:

Com2File の主な目的は複数の COM ポートにより通信を行うデータベースアプリケーションのサンプルソースコードを提供することです。ここで述べているのは使用したアルゴリズムを説明するプログラミングためのメモです。

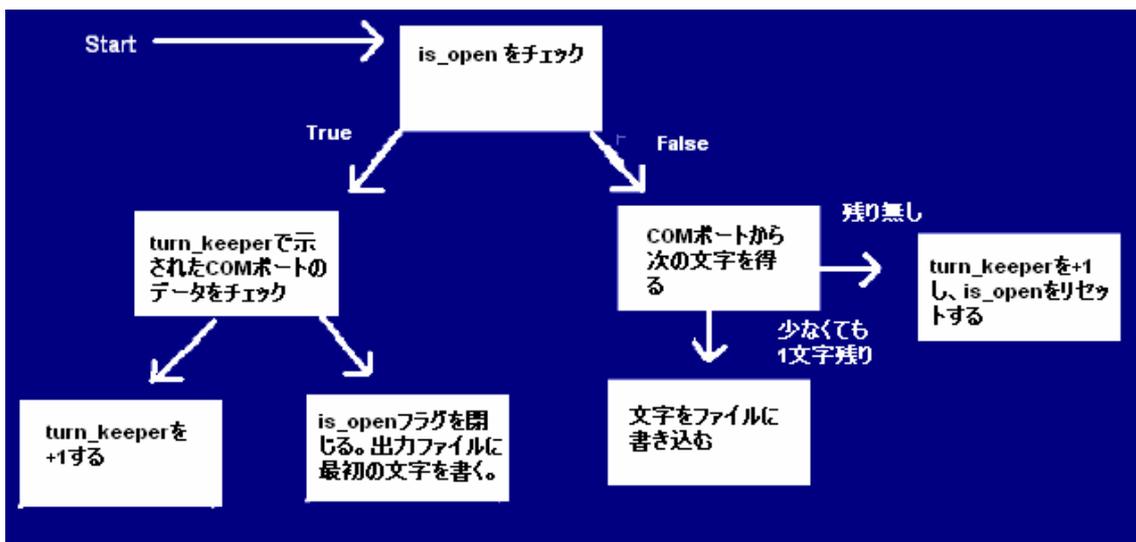
## ポーリング:

Com2File は接続された COM ポートからデータを収集するのにポーリングを使用しています。以下に示すポーリングアルゴリズムを実行するためにタイマー割り込みは 50 ミリ秒ごとにオフになります。これは変更することができます。時間を短くするとプログラムの応答は良くなりますが、PC のリソースが余計に必要となります。時間を長くするとプログラムの応答は遅くなりますが、CPU の負荷は軽くなります。

値を変更するには、312 行と 409 行の SetTimer メソッドで使用されている、14 行の pollPeriod の値を変更します。

## アルゴリズム:

Com2File の中心は新しく入ってくるデータをチェックするためのポーリングアルゴリズムとファイルへのデータ書き込みです。アルゴリズムは以下のフローチャートに示しています。is\_open は出力チャンネルが有効または使用中かを知るために使用されている論理変数で、turn\_keeper は最後にどれがアクセスしたかを保持するために使用される整数値です。



### **COM ポートからデータを取得:**

COM ポートからのデータはファイル読み込みと同様の形式で一度に一文字入力されます。一度に一文字の読み込みは、どのバーコードのサイズでも読み込むことができます。そして、プログラムは短いバーコードを読んだ後でも待つことはありません。

COM ポート読み込みのタイムアウト値は 201 と 206 行でセットされています。標準では、プログラムは 5 ミリ秒待ちますが、大きな値は転送の多い無線ネットワークの場合適当です。